

第 14 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和 6 年 1 月 25 日 (木)

開催時間 午後 4 時 30 分から午後 5 時 45 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 降旗 友宏
 教育長職務代理者 小澤 幸子
 教育長職務代理者 松坂 浩志
 委員 長 澤 重俊 橋本 幸子 相浦 陽

出席職員
 教育監 市川 敏也 総務課 齊藤 七二
 教育課長(総務課長) 初鹿 野 仁 総括課長補佐 小池 涼子
 教育企画室長 小岩 出 修 義務教育課 丸山 好彦
 福祉給与課長 永井 須 研 一 総括課長補佐 深沢 泰斗
 学校施設教育課長 小池 沼 孝 二 高校教育課 関 博史
 義務教育課長 萱 野 美 香 副主幹・指導主事 生涯学習課
 特別支援教育・児童生徒支援課 鷹 野 貴 久 子 課長補佐 伊藤 伸二
 生涯学習課長 山田 村 芳 隆 宏 保健体育課 佐久間 絵梨
 企画調整主幹 伊藤 宏 保健体育課 西川 一枝
 働き方改革推進監 伊藤 宏 総括課長補佐 花輪 孝徳
 村田 祐次

傍聴人 0 名

報道 1 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

報告事項 1 1 「令和 9 年度全国高等学校総合体育大会南関東ブロック大会の山梨県における開催競技会場地市町・競技会場の決定について」は、関係機関との協議等を必要とする案件である旨教育長から発言があり、委員全員が了承のうえ非公開とした。

- 1 議 案
 第 30 号 山梨県教育職員免許に関する規則の一部を改正する規則
 [説明] 義務教育課

【原案どおり決定】

第 31 号 「山梨県子ども読書活動推進実施計画（第 4 次）（仮称）」（素案）に対するパブリックコメント（県民意見提出制度）の実施について

〔説明〕 生涯学習課

- 小澤委員 これまでもパブリックコメントを募集したことはあるのですか。
- 平賀課長 現在の第 3 次計画の際もパブリックコメントは実施しております。ただ、意見はなかったようです。
- 小澤委員 分かりました。
- 教育長 金田一館長のメッセージについては、まだここでは反映されていないのですか。
- 平賀課長 金田一館長のお言葉については、それについて意見をいただくものではございませんので今回は含まれておりません。最終的には計画に載せて公開となります。
- 教育長 今回の計画では、県立図書館の金田一館長から読書に関するメッセージをいただけるということで、今用意しております。このような計画に館長のメッセージが入るといのはなかなかユニークなことではないかと思ひまして、金田一館長のメッセージを楽しみにしております。都留高校では学校図書館改造の取組を行っており、先日山日新聞にも取り上げられましたが、学校図書館の改造に関する取組については今回の計画の中で触れられるのでしょうか。
- 平賀課長 検討はしたのですが、今回は計画に載せておりません。
- 教育長 学校図書館は割と古い本が多いので、見栄えのあるような内容に更新していく取組は必要ではないかと思ひっており、そのような取組について計画の中に入れてもいいのではないかと思います。少し検討していただければと思ひます。
- 松坂委員 パブリックコメントを求めるのはいいことだと思ひますが、資料の「推進体制の整備」のところで、市町村における推進体制を整備してくださいという内容だけで、推進体制をどのように行っていくのかという記載がないと思ひます。また、資料の下のほうにはその目標数値が書かれているだけで、推進体制の整備について具体的にどのような推進体制を整備するのかという質問がパブリックコメントで寄せられるのではないかと思います。また、資料の上のほうと整備のところそれぞれ目標と成果が書かれていますが、どうしてこれらを分けたのか意図がよく分からないのですが。
- 平賀課長 上のほうの数値目標の成果というのは、現計画における今現在の成果のことです。そして右下の赤字の目標値は、新しい計画において今後どうしていくのかという目指す数値になっています。
- 松坂委員 推進体制の整備は、市町村へ推進体制の整備を依頼するという内容だけであつて、県としての体制はないということでしょうか。
- 平賀課長 県と県立図書館、それから市町村と市町村図書館も一緒になって取り組んでいくということで、県だけでなく市町村においても推進体制を整備するという意味で記載しております。
- 松坂委員 この資料の書き方だと市町村にだけ推進体制の整備をお願いするみたいに取りつかねないかなとちょっと思ひました。
- 小澤委員 質問ですが、学校図書館のDX化推進は、どういうことをイメージしたらいいのでしょうか。

平賀課長 生徒が学校に持ってきているタブレット端末で調べものをしたり、学校の図書館において紙の本と併せてタブレットを使用したりという意味で書いています。

小澤委員 分かりました。

教育長 甲府市の教育委員会が、GIGAの端末で電子書籍を見られるようにする取組を開始するという報道を目にしましたが、ここで言っている学校図書館DX化というのは、そういう電子書籍の活用というものも念頭に置かれているのですか。

平賀課長 県立高校の一人一台端末において電子書籍を見ることができるよう検討しています。

伊藤補佐 県立高校では甲府南高校で電子書籍を取り入れており、学校図書館のDX化はそこをイメージしております。

萱沼課長 ちょっとよろしいでしょうか。

教育長 はい、萱沼課長お願いします。

萱沼課長 県立高校ではこれまで図書館に行かなければ本を借りることができなかったのですが、新たなシステムの導入により、家にいながらにして貸し出しや検索ができるようになり、活用の幅が広がっているように思います。

小澤委員 今度本を学校に寄付するので今図書館によく出入りして勉強しているのですが、紙の図書のようにQRコードを付けて感想を入れてもらうなど今いろいろな実験をしていますが、そういうものもDX化なのでしょうか。

教育長 DX化だと思います。これまで紙で感想を書いていたものをデジタルで集約できるのは、立派なDX化の取組の一つだと思います。

小澤委員 読んだ本の感想をDX化によって広く、深く、長くみんなで共有できるのは1つの工夫なのかなと思いました。

長澤委員 資料の最初の実績のところですが、図書館の非利用率の数値が22.9%から38.5%に増えたのは、利用しない人が増えたということではよろしいのでしょうか。

平賀課長 そうですね。非利用率なので、数字が大きくなるというのは良くないことになります。

長澤委員 かなり大きく悪化したと理解していいのでしょうか。

平賀課長 数字だけ見るとそうですが、山梨県は全国平均と比べると良い数字となっています。

長澤委員 そうはいつでも16%も増えていて、今度これを19%に持っていくというのはなかなか大胆な計画だと思います。コロナとか影響しているのでしょうか。なぜ5年間でこんなに悪化したのでしょうか。

平賀課長 コロナで図書館に入れなかったり図書に触ることがちょっとできない時がありまして、その影響はあるかと思います。

長澤委員 それでは19%という目標値はそれほど厳しい数字ではないのですね。分かりました。

【原案どおり決定】

2 報告事項

- (10) 第8回大村智自然科学賞受賞者について
〔説明〕 高校教育課

小澤委員 応募者数が思ったより少なかったですね。

萱沼課長 はい。そこが課題でありまして、特に中学校のほうが、この大村智科学自然賞の応募資格をより高いレベルで捉えており、全国レベルでないと出せないのではないかと誤解されている部分があります。全国で受賞経験がなくても、身近なところに着目してその発想がすごい豊かであるとか、今後期待できるといったような研究も応募してもよいテーマあることを中学校のほうにできるだけ知ってもらえるよう周知をしていきたいと考えております。

教育長 例えばどのような周知方法を考えていますか。

関副主幹 周知につきましては市町村の教育委員会等を通して文書を送付していますが、中学校の理科の先生方が集まるような会議等でも指導主事が出向いて説明をしています。
ここ数年かなりレベルが高く、全国レベルの中学生が続出してしまったもので、それはとてもうれしいことなのですが、そのイメージがあり応募者が少なくなりました。中学校では部活動として取り組んでいるところが少ないため、どうしても個人研究が多くなってしまい、高校とは研究の下地が違う部分もありますが、今回本当に身近な疑問から出発した研究が選考委員の方々にも高く評価していただいて受賞したので、次年度以降はその辺りもお話をして、広く募集していきたいと思っております。今回の受賞がそういった周知の1つのきっかけになればというふうに考えております。

教育長 中学校の底上げの方法や先ほどの総合教育会議でも話題になりました理科の素養を持つ子供たちをどう育てていくのかという点については、理科系の先生方のお力を借りながら取り組んでいきたいと思えます。

【 了 知 】

- (11) 令和9年度全国高等学校総合体育大会南関東ブロック大会の山梨県における開催競技会場
市町・競技会場の決定について

〔説明〕 保健体育課
(非公開：会議の要旨)

大会の本県における開催競技会場と競技会場および今後のスケジュール予定が説明され、全委員に了知された。

【 了 知 】

3 その他報告

- (11) 令和6年度「山梨県学校教育指導指針」について
〔説明〕 高校教育課

教育長 前回長澤委員は欠席されましたので少し補足させていただきますと、勉強会で「指導重点」の位置付けとタイトルについて各委員の皆さんからご意見をいただきました。その時の主な意見として、中身はよく詰まっていたとしても完成度は高いものであるが、問題は活用方法と「指導重点」という言葉であって、この内容すべてが重点化されたら学校現場の先生方は大変なのではないか、メリハリを付けた活用の仕方などを工夫すればいいのではないかというものでした。
そこで、位置付けなどを再考させていただき、タイトルを「指導重点」から「指導指針」に変えた上で再提案をいただいたものであります。
橋本先生、いかがでしょうか。

- 橋本委員 タイトルを「指導重点」から「指導指針」へ変更したことで、学校や先生方の受け取り方が異なってくると思うので、よく考えていただいたなと思います。
- 教育長 ありがとうございます。
この指導指針ですが、どのような活用イメージを考えているのか、萱沼課長はじめ、関係課長から少し補足していただいてもよろしいでしょうか。
- 萱沼課長 県立学校は、校長会で指導指針の説明をさせていただいた後、この指導指針を基に学校長が次年度の学校教育目標を考え、各学校で具体的な取り組みを行ってまいります。
- 小池課長 小中学校も同様で、学校長それから地教委に共通理解をしていただいた後、校長からそれぞれの学校の教員に説明していただきます。全ての教員はいつでも見られるように手元に置いていただき、研究の折や学級あるいは学年経営に生かしてもらいます。
学校においては、この指針を基に各学校の実態に合わせた学校経営方針を組み立てていくとともに、学校の取組について保護者向けに説明していく材料にもなっています。
- 鷹野課長 特別支援学校も同じような活用方法で使わせていただきます。
- 教育長 ありがとうございます。
- 長澤委員 様々な議論を経て作成されたものであることが分かりました。これは結構使われているということなのでしょう。
- 萱沼課長 はい。特に管理職は、先ほどちょっとお話しさせていただきました学校の目標や経営方針を決める際は、非常に重要な指針になっているかと思います。
- 教育長 そのほかよろしいでしょうか。
それでは「指導指針」ということで今後進めさせていただきます。

【 了 知 】

- (12) 「やまなし障害児・障害者プラン2024」（素案）における「山梨県読書バリアフリー計画」について

〔説明〕 生涯学習課

- 教育長 これと先ほど審議した子どもの読書計画とはリンクしているのでしょうか。
子どもの読書推進計画の中にも子どもの特性や状況等に合わせた書籍の整備という項目があり、特別な支援を必要とする子どもに対する読書のアプローチのことが触れられています。もしリンクしていないのであれば、この読書バリアフリー計画とリンクしているようなことを入れることについて検討していただければと思います。
せっかく読書バリアフリー計画があつて、子どもの読書計画と関連するような部分があるので、そこは同じ県の取組として、双方の関係性を何か記しておいたほうがよりベターなものになると思います。

- 平賀課長 分かりました。ありがとうございました。

【 了 知 】

〔 教育長閉会宣言 〕

以 上